

## 入館者数の博物館業務評価一指標としての有効性（大磯町郷土資料館の実情から）

\* 北水 慶一

開館から 20 年を経過した当館は地域に根付いた活動が定着する一方で、施設のあり方について評価し、議論されることが多くなった。評価指標の実績値として、必ず取り上げられるのは年間の運営のコスト（予算歳出額）とそして、入館者数である。地方自治法の中で「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」と明記されている。むろん 10 数年、学芸員という職に就いて企画展事業・教育普及活動事業を実施していると自ずと経費の抑え方、効果的な見せ方、話し方等が身に付き、自分なりに最少の経費で来館者に一応の満足感を感じていただいているのではないかと考えている。現在、実施している手法がすべて正しいとは言わないまでも、概ね効果的、効率的な事務の遂行ができていると自負している。むしろ業務評価で気に掛かっているのは端的に効果＝（イコール）入館者の獲得ということだが、先行しているように感じられることである。むろん、博物館の学芸員としては、年間の入館者数や企画展の入場者数は気になる事項であり、企画展実施後の自己評価の一指標であることは間違いない。近年、来館者の満足度を数値化する研究が進められているが、すべての博物館に適用できる算出法を確立することは現実的には難しいと思われる。入館者数は唯一、客観的に業務評価できる数値と言えるの

かもしれないが、それぞれの施設の立地や入館者数の増加・減少の要因等を正確に掴んでいないと、正しい業務評価に結び付かないのではないかと考える。全体的な館の評価というよりも事業の評価について言及することになるが、当館の場合、企画展入場者数は開催時期によってバラツキがあり、7月、8月はどんな展示内容であっても、入場者数は伸びず、春・秋の企画展の入場者数と比較されると不公平感を抱く。感覚的に入館者数が多い時期、少ない時期は分かっているが、実態はどうなのか興味を持ち、入館者数を図表化し、推移等を調べることにした。

### ＜入館者数のカウントの仕方＞

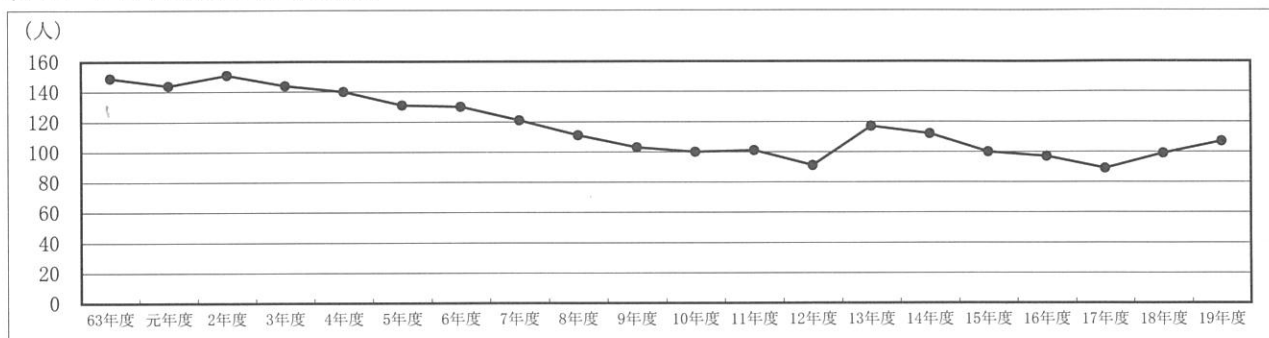
当館では、入館者数はエントランスホール入口に設置してある光電式の出入者自動計数装置でカウントしている。赤外線センサーによる自動計測器で、入館・退館の2回センサー設置箇所を通過することで、1人とカウントされるようになっている。企画展示室の入口には特に計数器を設置しておらず、企画展会期中の資料館入館者数を企画展の入場者数としている。

### ＜当館の立地および施設の利活用＞

当館は大磯駅から約 2 km 離れた県立大磯城山公園の中にある。城山公園は約 7 ha の風致公園で、1年を通じて草花や樹木、野鳥、昆虫等自然に親しむことができる。当館の入館者数も少なからず、城山公園の影響を受けていることは言うまでもない。

また、当館の研修室は町役場や教育委員会の行事が無い時は一般のサークルに貸し出しており、公民館的な施設利用もされている。

表 1. 1日平均入館者数の推移



年 度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入館者数	28,415人	28,252人	25,395人	32,886人	30,835人	28,497人	28,250人	26,421人	28,966人	31,697人
開館日数	282日	279日	277日	281日	274日	285日	291日	296日	291日	296日
1日平均	100人	101人	91人	117人	112人	100人	97人	89人	99人	107人

(\* 当館学芸員)

### ＜1日平均の入館者数の推移＞

開館した昭和63年度から平成19年度までの入館者数の推移を調べた。年間入館者数は、開館日数に多少影響を受けるため、比較対象とする数値は、年間入館者数を開館日数で割った1日平均入館者数を用いた。結果は表1のとおりである。平成2年度が最も多く、1日平均の入館者数は151人を記録した。その後は平成12年度まで緩やかな減少傾向で推移し、平成12年度は1日平均91人まで落ち込んだ。平成13年度は前年度比28.6パーセント増の117人に増えたが、その後は再び、減少傾向となり、平成17年度に最も少ない89人になった。その後2年間は増加傾向となっている。結論としては、開館から平成8、9年度頃までは減少傾向で、その後は若干の増減はあるものの100人前後のほぼ横ばい状況として見る事ができる。

### ＜企画展開催の効果＞

当館の展示室は2室あり、1室が常設展示室(275.54㎡)、他の1室が企画展示室(84.12㎡)である。常設展示室は部分的な展示替えをすることもあがるが、ほぼ1年固定した展示である。企画展示室では、常設展の展示を補うための企画展(予算規模・展示資料点数等によって特別展・企画展・ミニ展示の3種類に分類しているが、以下、企画展と表記する。)を年3回～5回実施している。

企画展開催の効果・影響度を調べるため、平成19年度とほぼ同じ1日平均入館者数に落ち着いた平成8年度以降、12年分の入館者数を企画展開催の有無によって大別し、1日平均の入館者数をもとめた。細かく推移が読み取れるように一月を上旬(1日～10日)、中旬(11日～20日)、下旬(21日～)の3期に分け、計36期で比較した。結果は表2のとおりである。表で[常設展のみ]は企画展を開催していない時の館運営状態で、[常設展+企画展]は企画展を開催している時の館運営状態を意味している。[常設展のみ]の10月下旬から11月中旬、3月上旬から下旬、また、[常設展+企画展]の9月中旬から10月上旬の時期については開館日数20日を下回り、データとして不十分な感はしたが、そのまま基礎データとした。

続いて、企画展開催の効果・影響度を数値化するため、それぞれの期間において、[常設展+企画展]の1日平均入館者数を[常設展のみ]の1日平均入館者数で割り、効果・影響度を調べた。結果は表3に示している。数値1.0が効果・影響度が0で、数値が増えれば増えるほど影響度が大きいといえる。

考察される事柄は次のとおりである。

①(当然のことながら)企画展を開催した方が入館者数は多い

例外的に8月下旬と10月上旬は[常設展のみ]の方が多かったが、基本的には企画展を実施している時の方が、入館者数が多い状況が見られた。これは、企画展開催時に積極的に広報活動を行なっていることに起因していると思われる。

②企画展開催の有無にかかわらず、時期によって、入館者数に偏りがある

当館の場合、2月から5月、10月、11月の入館者数は平均して多い。しかしながら、7月、8月、1月の1日平均入館者数は70人前後と低迷する。城山公園内の梅、桜、ツツジの開花、モミジの紅葉等施設の周辺環境も少なからず影響しているものと思われる。

③企画展の開催の効果は時期によって異なる

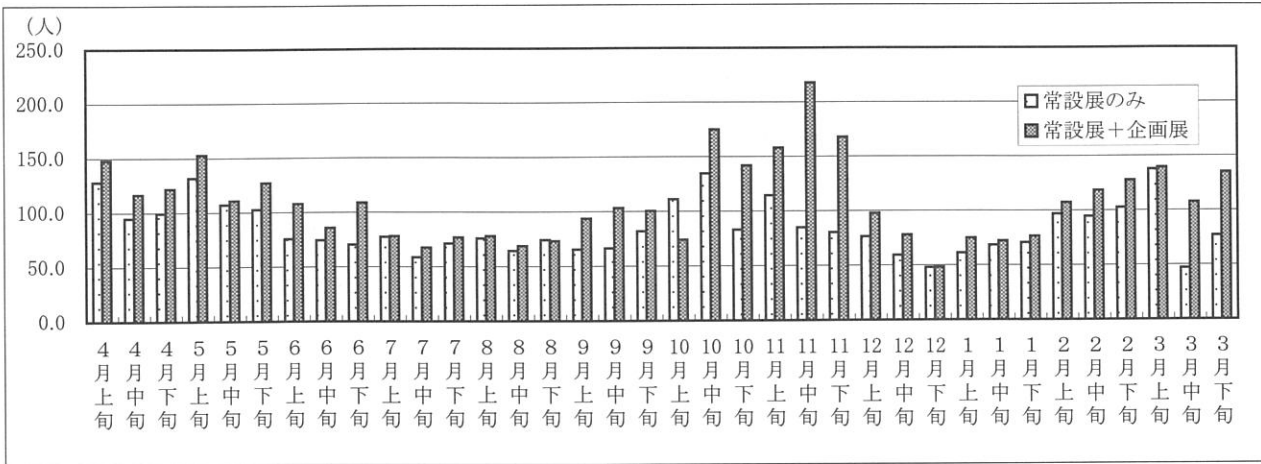
企画展を開催した時の効果・影響度は平均1.3で、企画展を開催しない時よりも約130%の入館者数が見込める。しかしながら、効果の表れ方は時期によって差が生じる。表3を参考にした場合、6月上旬・下旬、9月上旬・中旬、10月下旬、11月中旬・下旬、3月中旬・下旬は平均の1.3を大きく上回っている。逆に5月中旬、7月上旬・下旬、8月上旬・中旬・下旬、10月上旬、12月下旬、1月中旬・下旬、3月上旬の効果・影響度は1.1未満で、10%増も見込めない状況である。更に興味深い点は、6月から9月の[常設展のみ]の1日平均入館者数は70人前後で推移しているにもかかわらず、6月、9月と7月、8月とでは効果・影響度に違いが見られることである。効果・影響度は6月と9月はそれぞれ1.38と1.41、7月と8月は1.08と1.03であり、7月、8月は特に効果が表れにくいことが分かった。

### ＜企画展の内容と効果＞

表4と表5にこれまで実施した企画展のランキングを紹介している。表を見ていただくと分かるとおり、企画展の内容によっても1日平均の入館者数はバラツキが見られる。本稿では、来館者の趣向については特筆せず、あくまで実績値から実態を読み取ることとする。

1日平均の入館者数は最も多かった企画展が322.7人、最も少ない企画展が61.1人で5倍強の差が見られた。また、開催時期に注目するとランキングの上位にあげられている展示は10月から11月にかけて、3月から4月にかけて、また5月から6月にかけて開催した企画展であった。逆に少ないのは7月から9月、12月から2月にかけての期間の展示であった。企画展の会期日数という点では30日前後と比較的会期が短い展示がランキングの上位にあがっていた。期間が長くなると会期中、徐々に入館者数が減る状況が見られ、短い期間の方が集中して入館者を集めやすいことがうかがえる。

表2. 企画展開催有無の1日平均入館者数の比較



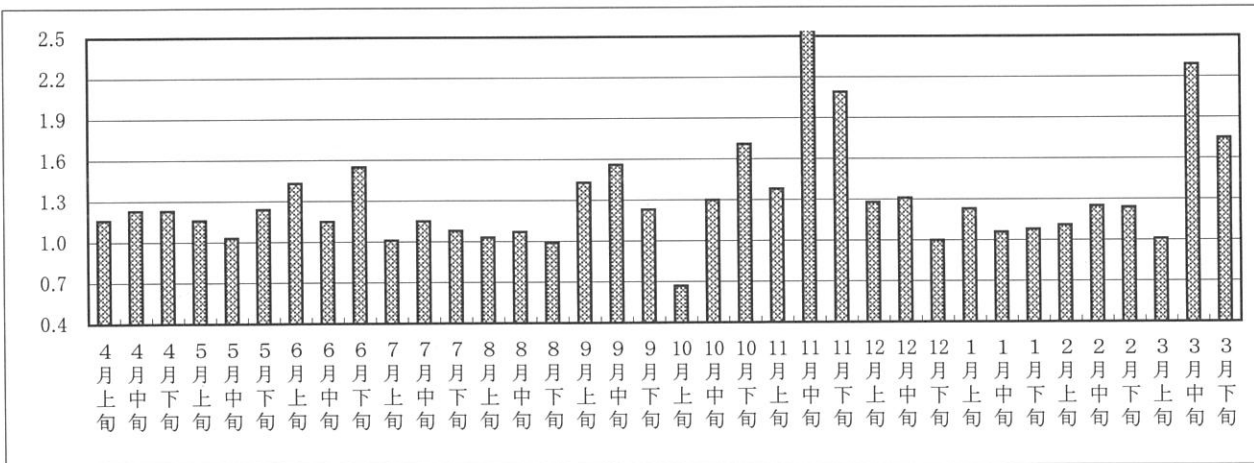
		4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
常設展のみ	1日平均	128.2	94.8	99.4	131.9	107.2	102.6	75.6	74.5	70.4	77.5	58.7	71.3	76.0	64.4	74.4	65.5	66.3	81.8
	開館日数	26	76	59	35	57	50	26	50	57	50	53	28	24	25	29	62	84	78
常設展+企画展	1日平均	148.1	116.6	121.8	152.9	110.8	127.2	107.8	85.8	108.9	78.0	67.5	76.8	78.0	68.9	73.3	93.6	103.2	100.5
	開館日数	65	28	36	43	46	63	65	53	22	26	45	82	69	77	85	27	12	16

		10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
常設展のみ	1日平均	111.1	134.6	83.0	114.5	85.0	80.4	76.4	59.3	48.0	61.2	68.5	70.6	96.9	94.7	102.6	137.8	47.0	77.0
	開館日数	72	50	5	11	10	32	44	43	29	22	44	71	55	39	27	12	5	4
常設展+企画展	1日平均	74.1	174.9	141.9	158.1	217.8	167.8	97.8	77.9	48.2	75.0	72.3	76.6	107.4	118.4	127.7	139.6	107.5	135.0
	開館日数	16	50	108	80	92	64	46	60	39	31	51	42	36	56	58	78	96	104

※ 単位は「1日平均」は人、「開館日数」は日

表3. 企画展の入館者数に関する効果・影響度



		4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
常設展のみの1日平均人数 (a)		128.2	94.8	99.4	131.9	107.2	102.6	75.6	74.5	70.4	77.5	58.7	71.3	76.0	64.4	74.4	65.5	66.3	81.8
常設展+企画展の1日平均人数 (b)		148.1	116.6	121.8	152.9	110.8	127.2	107.8	85.8	108.9	78.0	67.5	76.8	78.0	68.9	73.3	93.6	103.2	100.5
企画展の効果・影響度 (b/a)		1.16	1.23	1.23	1.16	1.03	1.24	1.43	1.15	1.55	1.01	1.15	1.08	1.03	1.07	0.99	1.43	1.56	1.23

		10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
常設展のみの1日平均人数 (a)		111.1	134.6	83.0	114.5	85.0	80.4	76.4	59.3	48.0	61.2	68.5	70.6	96.9	94.7	102.6	137.8	47.0	77.0
常設展+企画展の1日平均人数 (b)		74.1	174.9	141.9	158.1	217.8	167.8	97.8	77.9	48.2	75.0	72.3	76.6	107.4	118.4	127.7	139.6	107.5	135.0
企画展の効果・影響度 (b/a)		0.67	1.30	1.71	1.38	2.56	2.09	1.28	1.31	1.00	1.23	1.06	1.08	1.11	1.25	1.24	1.01	2.29	1.75

※ 「1日平均人数」の単位は人

表4. 大磯町郷土資料館企画展の1日平均入館者数ランキング (No. 1)

	種別	回数	テーマ	会期	開館日数	入館者数	1日平均
1	特別展	第2回	安田靉彦の画と書 ～大磯に在りし六十余年～	平成元年10月15日～11月12日	25日	8,068人	322.7人
2	企画展	第5回	土器が語る縄文時代の湘南	平成2年3月6日～4月8日	29日	9,245人	318.8人
3	特別展	第1回	町屋園の日々 ～島崎藤村とその周辺～	昭和63年10月26日～11月17日	19日	5,779人	304.2人
4	特別展	第7回	襦袢～紅絹からのメッセージ/西相模の仕事着	平成6年10月16日～11月20日	31日	9,254人	298.5人
5	特別展	第5回	相模湾の動物展	平成4年10月10日～11月22日	38日	10,874人	286.2人
6	企画展	第6回	昭和の風俗画家「長瀬寶の世界」	平成2年5月5日～6月3日	26日	6,376人	245.2人
7	特別展	第4回	大磯と吉田茂 ～開館3周年記念～	平成3年10月13日～11月10日	25日	6,100人	244.0人
8	特別展	第3回	城山荘と城山窯 ～昭和の残像～	平成2年10月14日～11月11日	25日	6,025人	241.0人
9	企画展	第33回	かながわ考古学財団共催・巡回展「弥生の幕あけ」	平成11年11月7日～11月28日	18日	4,181人	232.3人
10	特別展	第9回	おばあちゃんの針仕事	平成8年10月13日～11月17日	30日	6,719人	224.0人
11	特別展	第8回	牧野富太郎と西相模の自然	平成7年10月15日～11月19日	31日	6,637人	214.1人
12	特別展	第6回	初代 竹春展	平成5年10月17日～11月21日	31日	5,836人	188.3人
13	特別展	第10回	動物の生活と体のつくり ～羽と歯を中心に～	平成9年10月12日～11月16日	30日	5,580人	186.0人
14	企画展	第18回	雲の画家/山本瑛幾遺作展	平成6年5月5日～6月12日	34日	6,313人	185.7人
15	特別展	第12回	東海道シンポジウム大磯宿大会記念展 「旧高麗寺の寺宝」	平成14年10月12日～11月17日	30日	5,351人	178.4人
16	企画展	第8回	ヤゴと小川・ため池の生きもの	平成3年3月3日～4月7日	30日	5,347人	178.2人
17	企画展	第9回	土器が語る弥生時代の湘南	平成3年5月5日～6月9日	31日	5,294人	170.8人
18	企画展	第13回	湘南の考古資料展	平成5年3月6日～4月4日	25日	4,202人	168.1人
19	企画展	第17回	雛人形展	平成6年3月3日～4月3日	27日	4,465人	165.4人
20	企画展	第58回	館所蔵雛人形展 雛の競艶	平成20年2月10日～4月6日	47日	7,735人	164.5人
21	企画展	第43回	文化財特別公開「初公開高来神社蔵木造神像群 修復完工慶覚院木造仁王像」	平成14年5月19日～6月23日	30日	4,780人	159.3人
22	企画展	第11回	相模湾の漁船と船大工	平成4年3月1日～4月5日	30日	4,737人	157.9人
23	企画展	第23回	雛人形展	平成8年2月25日～4月7日	35日	5,429人	155.1人
24	企画展	第29回	日本列島エハガキ紀行	平成10年10月18日～12月6日	40日	6,160人	154.0人
25	企画展	第44回	雛人形展	平成15年2月16日～4月6日	41日	6,156人	150.1人
26	企画展	第2回	叙情の人・菊池重三郎 ～よせられた書簡を中心に～	平成元年4月18日～6月18日	51日	7,579人	148.6人
27	企画展	第27回	雛人形	平成10年2月15日～4月5日	40日	5,676人	141.9人
28	企画展	第36回	職人の道具 ～西相模の手作業～	平成12年10月22日～11月26日	32日	4,531人	141.6人
29	企画展	第14回	～館収蔵品による～ 大磯ゆかりの人々の逸品 2	平成5年4月27日～6月20日	45日	6,333人	140.7人
30	特別展	第11回	東海道宿駅制度400年記念巡回展 「二宮・大磯・平塚を結ぶ道 ～東海道～」	平成13年9月16日～10月28日	36日	4,974人	138.2人
31	企画展	第57回	町中の自然ウォッチング	平成19年10月21日～1月14日	66日	9,011人	136.5人
32	企画展	第42回	漂着物展	平成14年3月3日～4月7日	29日	3,935人	135.7人
33	企画展	第46回	開館15周年記念展「考古資料展」	平成15年10月18日～12月21日	53日	7,163人	135.2人
34	企画展	第47回	布と着物 ～縫う・着る・装う・繕う・楽しむ～	平成16年2月24日～4月11日	40日	5,395人	134.9人
35	企画展	第53回	江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展Ⅱ 「酒～宴の道具～」	平成18年2月5日～5月7日	76日	10,212人	134.4人
36	企画展	第25回	徳利	平成9年3月16日～4月27日	35日	4,616人	131.9人
37	企画展	第20回	地中からの足音 ～近年の発掘調査の成果～	平成7年3月19日～6月11日	69日	9,002人	130.5人
38	ミニ展示	第4回	ちょっとなつかしいもの	平成11年4月25日～6月20日	45日	5,785人	128.6人
39	企画展	第38回	雛人形展	平成13年2月25日～4月8日	34日	4,336人	127.5人
40	企画展	第7回	館収蔵品による「大磯ゆかりの人々の逸品」	平成2年7月24日～9月2日	36日	4,545人	126.3人

表5. 大磯町郷土資料館企画展の1日平均入館者数ランキング (No. 2)

	種別	回数	テーマ	会期	開館日数	入館者数	1日平均
41	企画展	第16回	新春資料展	平成6年1月23日～2月27日	30日	3,766人	125.5人
42	企画展	第24回	アオバトと照ヶ崎	平成8年5月26日～6月9日	12日	1,498人	124.8人
43	企画展	第10回	なつかしの風景Ⅰ 海と海水浴場	平成3年7月21日～8月31日	36日	4,450人	123.6人
44	企画展	第12回	なつかしの風景Ⅱ 家と町並み	平成4年7月26日～9月6日	36日	4,340人	120.6人
45	企画展	第32回	～館収蔵品による～ 大磯ゆかりの人々の逸品3	平成11年10月17日～11月3日	14日	1,626人	116.1人
46	企画展	第51回	東京家政学院生活文化博物館・大磯町郷土資料館共催展 「日本人形の姿と形 ～節句飾りを絵解きする～」	平成17年2月6日～5月8日	76日	8,707人	114.6人
47	企画展	第39回	新収集資料展	平成13年5月1日～6月17日	39日	4,363人	111.9人
48	企画展	第56回	磯・砂浜 ～身近な自然の営み～	平成19年4月29日～6月10日	35日	3,774人	107.8人
49	企画展	第55回	旧高麗寺の神と仏	平成18年10月15日～3月31日	134日	14,172人	105.8人
50	ミニ展示	第5回	収蔵動物剥製展	平成12年4月23日～6月14日	40日	4,212人	105.3人
51	企画展	第15回	なつかしの風景Ⅲ 史蹟と名勝	平成5年7月25日～9月5日	37日	3,868人	104.5人
52	企画展	第49回	大磯 高麗山の植物	平成16年9月12日～10月31日	42日	4,328人	103.0人
53	企画展	第3回	丘陵の動物 ～生活史を中心に～	平成元年7月11日～9月10日	54日	5,344人	99.0人
54	企画展	第54回	アオバトのふしぎ ～神奈川県天然記念物指定10周年記念～	平成18年5月28日～7月30日	48日	4,682人	97.54人
55	企画展	第21回	オタマシ ～神のすがた～	平成7年7月30日～9月10日	37日	3,606人	97.46人
56	企画展	第52回	県立大磯城山公園の植物 ～ワークショップ“草と木の調査”の活動成果を中心に～	平成17年10月23日～1月15日	65日	6,224人	95.8人
57	企画展	第30回	地中からの足音Ⅱ ～近年の発掘調査の成果～	平成11年3月7日～4月11日	29日	2,758人	95.1人
58	企画展	第50回	合併50周年記念写真展	平成16年11月14日～1月16日	48日	4,404人	91.8人
59	企画展	第19回	湘南の貝化石	平成6年7月17日～9月4日	43日	3,903人	90.8人
60	企画展	第22回	めんこ ～なつかしのヒーローたち～	平成7年12月3日～2月18日	57日	5,161人	90.5人
61	企画展	第34回	学習参考資料展「かわってきたくらしの道具」	平成12年1月16日～3月26日	57日	5,134人	90.1人
62	企画展	第26回	鍬KUWA ～土の記憶～	平成9年7月27日～9月7日	35日	3,064人	87.5人
63	企画展	第48回	江戸民具街道・大磯町郷土資料館共催展Ⅰ「灯」	平成16年5月2日～8月31日	96日	8,264人	86.1人
64	企画展	第41回	鈴木茂一コレクション展	平成13年12月9日～2月3日	38日	3,192人	84.0人
65	企画展	第40回	相模湾のウミガメ	平成13年7月21日～9月2日	36日	3,017人	83.8人
66	企画展	第45回①	第2回漂着物展<前期展示>「漂着物の物語り」	平成15年6月7日～7月20日	37日	3,077人	83.2人
67	企画展	第31回	相模湾の貝類Ⅱ 大磯周辺海域の二枚貝	平成11年7月21日～9月5日	39日	3,235人	82.9人
68	企画展	第1回	大磯再発見① 資料が語るもの	昭和63年12月6日～1月29日	40日	3,184人	79.6人
69	企画展	第4回	大磯再発見② モノ・もの・mono	平成元年12月12日～2月18日	50日	3,630人	72.6人
70	特別展	第13回	大磯の蘭嶼 ～松本順と大磯海水浴場～	平成19年7月3日～9月2日	54日	3,885人	71.9人
71	ミニ展示	第7回	収蔵昆虫標本展	平成14年12月8日～1月26日	33日	2,360人	71.5人
72	企画展	第45回②	第2回漂着物展<後期展示> 「私のお宝/ビーチコーミング・アート」公募展	平成15年7月26日～9月7日	36日	2,470人	68.6人
73	企画展	第28回	相模湾の貝類Ⅰ 大磯海域にすむマキガイ	平成10年7月12日～9月6日	46日	3,102人	67.4人
74	ミニ展示	第9回	戦後60年記念ミニ展示 「館収蔵資料による戦時下のくらし」	平成17年7月23日～9月4日	36日	2,380人	66.1人
75	企画展	第35回	身近な動物・植物	平成12年7月16日～9月3日	40日	2,565人	64.1人
76	企画展	第37回	「草と木の調査 ～秋の植物～」速報展	平成13年1月7日～2月18日	34日	2,079人	61.1人

※ ミニ展示は常設展示室・エントランスホール・回廊等企画展示室以外の場所で実施した展示もあるが、表に示したものは、企画展示室で実施した展示に限る。

### ＜県立大磯城山公園の入園者数との比較＞

表6から表8は平成17、18、19年度の城山公園の入園者数と郷土資料館の入館者数を比較したものである。城山公園の入園者数は園内駐車場に駐車してあった自家用車の台数等から算出した数値であり、実数というよりは概算的な数値ということだが、入園者数の推移という点では、記録の取り方が毎月、同じであるため、十分に参考にできる数値であると判断される。

単純に公園の入園者数と郷土資料館の入館者数とを比較すると、1年間の城山公園の利用者数は、平成17、18、19年度の3カ年はいずれも郷土資料館の利用者数のほぼ4倍であり、城山公園来園者のうち、郷土資料館に立ち寄る人は4人に1人ということが言える。また、月ごとの推移という点では、ほぼ同様の動きが見られる。但し、1点顕著に異なる点があり、郷土資料館の入館者数では6月から9月はほぼ横ばいであるのに対し、城山公園では必ず7月から8月に人数が増える時期がある。裏を返せば、7月、8月に増加した分の人たちは、郷土資料館に入館していないということが言える。この結果の要因であるが、7月、8月は虫かごを肩に掛け、たも網を持った親子が目立つことから、昆虫採集を目的に城山公園に来ていることが考えられる。

### ＜まとめ＞

本町においても平成16年から事務事業の評価を行なうようになった。今後はおそらく、施設運営側ではなく外部からの評価が積極的に取り入れられと思う。段階的に企画展・教育普及活動等事業ごとの業務評価が行なわれるようになった時、入館者数の動向に関してはやはり時期・季節的な考慮が必要であるように思う。また、博物館業務評価としては、単に入館者数のみで評価をするのではなく、来館者の満足感を指標化することも必要であり、独自の業務評価指標を館職員側から項目立てていくことが必要であるように思われた。

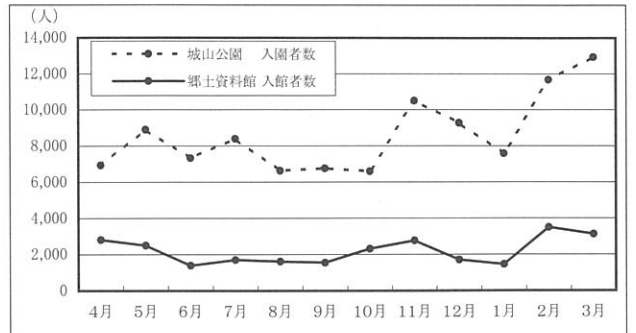
学芸業務に関する感想としては、当然のことながら、開催する企画展の展示内容によって入館者数のバラツキが見られ、テーマの取り方が重要であることを再認識した。また、夏休み期間に、子供を誘導できる企画（例えば、昆虫展など）を組めば、入館者数の増加が図れるのではないかと思った。

最後に趣旨を理解し、城山公園の入園者数等のデータをご提供いただきました城山公園 園長 由良伊佐雄氏に御礼申し上げます。

### 引用・参考文献

石川(貴)・庄司(1999)「最近3カ年の入館者数」に関するアンケート調査 結果報告『ミュージアム・データ

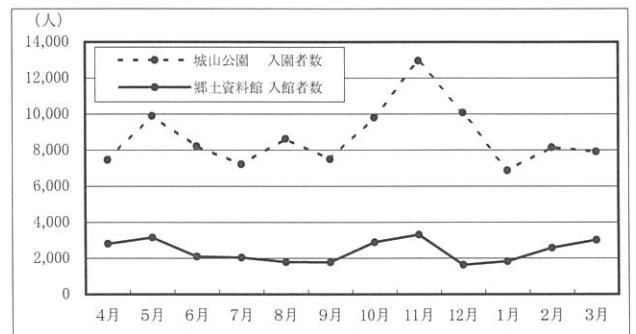
＜表6. 平成17年度の城山公園・郷土資料館の入館者数の比較＞



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
城山公園	6,933	8,900	7,326	8,393	6,630	6,758	6,590	10,505	9,277	7,585	11,680	12,935	103,512
郷土資料館	2,813	2,500	1,392	1,700	1,607	1,550	2,311	2,771	1,698	1,459	3,499	3,121	26,421

※ 単位は人

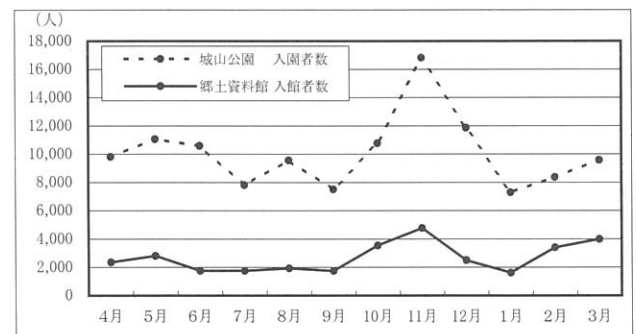
＜表7. 平成18年度の城山公園・郷土資料館の入館者数の比較＞



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
城山公園	7,460	9,905	8,220	7,220	8,630	7,500	9,800	12,960	10,080	6,870	8,160	7,920	104,725
郷土資料館	2,815	3,159	2,102	2,045	1,790	1,788	2,897	3,312	1,639	1,831	2,574	3,014	28,966

※ 単位は人

＜表8. 平成19年度の城山公園・郷土資料館の入館者数の比較＞



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
城山公園	9,815	11,070	10,590	7,820	9,570	7,510	10,773	16,827	11,869	7,289	8,376	9,581	121,090
郷土資料館	2,357	2,810	1,755	1,750	1,922	1,740	3,545	4,769	2,501	1,618	3,398	3,982	32,147

※ 単位は人

No. 45』. 丹青研究所

石川(貴)・福留・高橋(2001)「博物館の評価について」アンケート調査 結果報告『ミュージアム・データ No. 54』. 丹青研究所

佐川和裕(2005)「資料館と事務評価・人事評価」『大磯町郷土資料館 年報—平成15年度—』. 大磯町郷土資料館  
古川元也(2007)「博物館評価の一指標 (IVW)」『神奈川県博物館協会会報第79号』. 神奈川県博物館協会